

英 語

1 編集の具体的方針

特別支援学校小学部視覚障害者用教科書（英語科）は、文部科学省検定済教科書の一つである『Junior Sunshine』（開隆堂）を原典教科書とし、点字を触読する生徒の学習場面を配慮して編集したものである。そのため、教科書の内容は原典にほぼ忠実に点訳したが、絵や写真などを用いた活動などでは、生徒が理解しやすい形式に改めた。また視覚に障害がある生徒には難しい活動等は省略・修正を行った。その他、小学部を対象としているので、字体の変更等は省略し、生徒が触読しやすいようにしている。指導に当たっては、留意する必要がある。絵カードは点字教科書では省略したが、指導する教員が作成できるよう、この資料に見本を載せているので参考にしてもらいたい。表紙裏などの付録の配列順序や、各課の内容の割り付け順序などは、点字触読の観点から多少変更してあるが、主な内容の提示順序は、原典教科書と同じである。

日本文の点字表記の規則については、日本点字委員会編集・発行の『日本点字表記法 2018 年版』の本則に従っている。英語の点字表記については、国際統一英語点字協議会 (ICEB) で発行している *The Rules of Unified English Braille, Second Edition 2013* によるが、記号等は制限して導入している。また、発音記号については Daniel Jones 式の記号を点字表記したものを使用した。

2 編集の具体的内容

1. 各巻の分け方

第 5 学年＝全 3 巻，第 6 学年＝全 3 巻とした。

2. 各巻における内容の配列

【 5 - 1 】

おもな登場人物

Lesson 1 Nice to meet you.

Lesson 2 When is your birthday?

Lesson 3 What do you have on Mondays?

Lesson 4 Can you do this?

Project 1 パーティーを楽しもう。

【 5 - 2 】

Lesson 5 Where is your treasure?

Lesson 6 My Hero

- Lesson 7 Happy New Year
- Lesson 8 What would you like?
- Lesson 9 I love my town.
- Project 2 自分のことを伝えよう。

【5－3】

CAN-DO マップ

文字に慣れよう

- Lesson 1 大文字を書こう。
- Lesson 2 大文字の形に気をつけよう。
- Lesson 3 小文字を書こう。
- Lesson 4 小文字の形を確かめよう。
- Project 1 単語のはじめの音に気をつけよう。
- Lesson 5 単語を書き写そう。
- Lesson 6 大文字、小文字のルールを知ろう。
- Lesson 7 大文字と小文字の関係をまとめよう。
- Lesson 8 単語を読もう。
- Lesson 9 ゲームをしよう。
- ふろく 1 発音クリニック
- ふろく 2 この教科書で学んだことリスト
- ふろく 3 単語リスト
- ふろく 4 絵カード (省略)
- ふろく 5 ローマ字表 (ヘボン式)
- ふろく 6 アルファベット

【6－1】

おもな登場人物

- Lesson 1 We are friends.
- Lesson 2 What time do you get up?
- Lesson 3 Where do you want to go?
- Lesson 4 Welcome to Japan.
- Lesson 5 I want to see the Milky Way.
- Lesson 6 My Summer Vacation
- Project 1 世界で活躍する自分をしようかいしよう。

【6-2】

- Lesson 7 Watch the world.
- Lesson 8 What sports do you like?
- Lesson 9 My Favorite Memory
- Lesson 10 I have a dream.
- Lesson 11 Junior High School Life
- Project 2 感謝の気持ちを伝えよう

【6-3】

CAN=DO マップ

文字に慣れよう

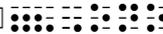
- Lesson 2 単語のはじめの音を聞こう。
- Lesson 3 国名を書こう。
- Lesson 4 単語のはじめの音に注意して聞こう。
- Lesson 5 文を読んで書こう。
- Lesson 6 「夏休みの思い出」を読もう。
- Lesson 7 英語の母音に注目しよう。
- Lesson 8 好きなスポーツと国で文を作ろう。
- Lesson 9 「大きなかぶ」を読もう。
- Lesson 10 文の意味を考えよう。
- Lesson 11 ポスターから情報を読み取ろう。
- ふろく 1 中学校へつなげよう① 語順
- ふろく 1 中学校へつなげよう② 過去形
- ふろく 1 中学校へつなげよう③ 単数形・複数形
- ふろく 1 中学校へつなげよう④ 外来語
- ふろく 2 発音クリニック 6年生
- ふろく 3 この教科書で学んだことリスト 6年生
- ふろく 4 単語リスト① 5年生
- ふろく 5 単語リスト② 6年生
- ふろく 6 絵カード (省略)
- ふろく 7 ローマ字
- ふろく 8 アルファベット

3 教科書における表記について

1. おもな登場人物のページにおける表記

□□□□□おもな登場人物

(5年生の例)

□□小野美希□英語が好きな5年生。ピアノと水泳が得意。

おもな登場人物に続いて紹介されている，教科書を通して出てくるキャラクターのイラストは省略し，そのセリフを該当する箇所に移動している。

2. 目次ページにおける表記

(1) 「目次 5-1」などは9マス目から書き始めた。

(2) 以下のものは1マス目から書き始めた。

Lesson, Project, チャレンジ, 5年生を終えて, 6年生を終えて, ふろく等

(3) (2)で挙げたものの表題等(例:5年「Nice to meet you.」)は行を変えて、3マス目から書き始めた。表題が長くて2行にわたる場合は、2行目を2マス下げて続けた。表題とページ数との間は2の点の連続線を引いた。なお、表題が英語の場合でも外国語引用符は使っていない。(6の点が付されているので、外国語の体系であることが分かるため)また、小学生は英語における記号を十分学習していないので英文中では～(swung dash)は用いず、空欄記号を使った。

(4) 「この教科書で使われているマーク」では、イラストは省略し、文字だけを点字になおした。

(5) 「その他のマーク」に出てくるヘッドフォンなどのイラストやQRコードは省略した。

また下線部分については、教科書を通じて、触読の妨げになる恐れがあるので省略してある。指導する際には、そのことを踏まえて指導していただきたい。

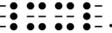
(例1) 5年の目次

□□□□□□□もくじ

Lesson 1 該当ページ

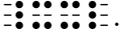
□□Nice to meet you.

□□名刺を交換しよう。

□□Hello□.

□□Nice to meet you.

□□I'm□.

I like .

大文字を書こう。・・・・・・・・・・ 3巻該当ページ

(例2) この教科書で使われるマークの書き方

□□□□□この教科書で使われるマーク

□□□□Let's Listen.

□□英語を聞こう。

3. 本文における見出し

(1) 9マス目から書き始めたもの

目次で1マス目から書き始めたものは、本文では9マス目から書き始めた。

(例) Lesson, Project (本文中), チャレンジ, 5年生を終えて, 6年生を終えて, 文字に慣れよう, CAN-DO マップ, ふろく等

(2) 7マス目から書き始めたもの

- Lesson, Project (本文中) のタイトル。これらは改行して, 7マス目から書き始めた。長くて2行にわたる場合には2行目を2マス下げて続けた。なお, Lesson のタイトル等は英語であっても外国語引用符は使っていない。
- CAN-DO マップのサルや美希のセリフ, 5年生スタート。
- おもな登場人物

(3) 5マス目から書き始めたもの

- Lesson (CAN-DO マップ内)
- Let's Listen, Let's Sing, Let's Watch and Think, Let's Play, Let's Chant, Let's Try
- ふりかえりをしよう, 発音, 日本の古くからの月名等, 原本ではオレンジ色で書かれた箇所
- めあて

(4) 3マス目から書き始めたもの (英語及び日本語の一般文章を除いて)

- Let's Listen, Let's Sing, Let's Watch and Think, Let's Play, Let's Chant, Let's Try での日本語の指示文
- Let's Listen, Let's Sing, Let's Watch and Think, Let's Play, Let's Chant, Let's Try での設問番号並びに選択肢の番号

- ・青のコロン，ピンクのビュレット（・）で書き始めるもの
- ・「めあて」で使われている数字

(5) ぶら下がり線で囲ったもの

カードや手紙のイメージを表すために，以下のような場合，ぶら下がり線で囲った。

□□□□ ⋮ □□□□

□□□□ ⋮ □□□□

- ・プロフィールカード
- ・新年のあいさつが書かれたカード
- ・ポスター
- ・手紙

(6) その他の表記

- ・本文におけるイタリック体は，触読が困難になるので省略した。
- ・会話については，次のように表記している。
 - 人物のイラストもなく明記されていない場合，質問（Q）と答え（A）を補い，そのあとにコロン（⋮）を使った。ダッシュの記号は用いなかった。
(例：5年 Spring Festival)

Q: What day is it today?

□□ ⋮ □□ What day is it today?

A: It's Saturday.

□□ ⋮ □□ It's Saturday.

- 人物のイラストはあるが，名前は特定出来ない場合は，人物を説明する日本語の説明を⋮ではさんで加え，小見出し符⋮のあとに英文を続けた。
(例：5年 p. 15)

□□ ⋮ オトコノコ ⋮ □□ What season do you like?

□□ ⋮ オンナノコ ⋮ □□ I like summer.

- 人物のイラストで名前が特定される場合，コロン（⋮）を名前のあとに使って表記した。

Bob: When is your birthday?

□□ ⋮ □□ When is your birthday?

Ms. Brown: My birthday is July 4th.

□□ ⋮ □□ My birthday is July 4th.

4. 単語リスト

単語リストの訳語は第1カギ (㉒～㉓) で、訳語中の () は第1カッコ (㉔～㉕) でくくった。訳語中の波線は三点リーダ… (㉖㉗㉘) で、英語の前に置かれた=は (㉙㉚) で表記した。原典教科書におけるページを表す数字は省略した。

5. 表紙見返しの記事, 及び写真, さし絵, 図などの扱い

各学年の表紙見返しの記事, 及び写真, さし絵, 図などは, 内容と直接関わりのある教材の個所に移したことがある。「2 編集の具体的内容, 2. 各巻における内容の配列」を参照されたい。

6. ページ数

- ・各 Lesson など (本文においては9マス目より書き始め, それが終わったときは, 2・5の連続線を10マス引いてあるもの) は, それが変わるごとにページを変える。5-1~3, 6-1~3は目次の次から1ページを打ち始めた。
- ・目次は目次1として打ち始めた。
- ・点字教科書のページは, 奇数右ページの右上欄外に示した。また, 墨字 (普通の文字のことを言う。以下同じ) の教科書のページは奇数右ページの左上欄外に㉛～㉜にはさんで示した。

7. ゲームのアレンジ

○キーワード・ゲーム

- ①複数個の単語 (ナンバー, フレーズ) の中から1つキーワードを決める。
- ②両手を机の上に置くよう指示し, 教師が発音した単語をリピートさせていく。
- ③キーワードを発音した時だけ, 児童は発音せず, 手をたたく。

○ミッシング・ゲーム

- ①まず, 教師は全ての単語を発音する。
- ②2度目に教師は, その中から1つ単語を抜かして発音する。
- ③児童は, 何が読まれなかったかをあてる。

○ポインティング・ゲーム

①編集資料を参考にして作成したカードを机の上に教師が並べる。

②児童にはあらかじめ何枚カードがあるかを確認させる。

③教師が発音した文字や単語を児童が選ぶ。

※カードは児童が触って、すぐに動いてしまわないように工夫する。

○ミステリー・ボックス・クイズ

①あてる役以外の児童で、箱に何を入れるかを定める。また、それぞれが出すヒントも決めておく。

②あてる役の子が質問したらヒントを与える。

○OXゲーム

○だと思う児童は声を出す, Xだと思う児童は声を出すというように指示をする。

○フルーツバスケット

フルーツバスケットは視覚障害のある児童には困難なので, I like ...と言われたら, 該当する児童は起立する。5回ほど繰り返して, 該当するものがどれくらいあったかを発表する。

○一本橋ゲーム

児童にテーマを与え, 交互に関連する単語を言い合う。

○ゴーフイッシュ

①児童1人が5枚のカードを持ち, 残りのカードは教師が持つ。

②次の人が欲しいカードを持っていれば渡し, なければ Go fish. と言って教師からカードをもらう。

③ペアのカードが出来れば前に出すことができ早くカードが無くなることを競う。